

## 沢井製薬グループ購買ポリシー

### I. 目的

このグループポリシーの目的は、(a) 沢井製薬グループの調達活動における内部統制の有効性を保証するため、(b) 沢井製薬グループのパフォーマンスを最適化するための適切な業務管理を維持するために、沢井製薬グループにおけるグローバル調達活動の標準を明示することにあります。

### II. 基本方針

私達沢井製薬グループの調達部門は、国内外の取引先の理解・協力を得て、以下基本方針を遵守した調達活動を行います。

#### 1. グローバル調達体系の構築

(1) 機能横断的に、また沢井製薬グループ全体最適の視点から、サプライチェーン・マネジメントを捉えて取り組みます。

#### 2. 安定・安全調達、調達コストの低減、高品質・堅実なテクノロジーの確保、リスクマネジメント

(1) 複数購買化や国内外のセカンドソース先確保等の視点を持って、「事業継続対策」を計画的かつ体系的に推進します。

(2) 戦略的な有利購買(同一または類似品の市場価格及び相場、代替品の使用可能性)を推進し、コスト削減に努めます。

(3) 購入する物品・サービスの需要を十分検証し、要求品質が関連基準を満たしていることを確認して、取引を行います。

#### 3. 法令・社則の遵守徹底、契約管理

(1) どのような取引においても、全ての関連法規を遵守します。その際、関連法規の

個々の条項ばかりでなく、その精神にも十分配慮します。

(2) 高い倫理観と責任感を持ち、意識啓発と法規リスクへの対応強化に努め、公正な調達活動を推進します。

(3) 経常的な取引先との重要な取引に当り、原則として取引基本契約書を締結し、契約書は厳重に管理します。

4. 公平・公正で透明性のある取引、相互利益尊重・信頼関係構築によるパートナーシップの強化

(1) すべての取引先に対して、公平・公正に対応します。

(2) 取引先の選定は、品質・信頼性・納期・価格、財務状況、先端技術開発力に加え、公正で透明性の高い企業情報の開示、法規の遵守、人権や労働者の権利の尊重、環境に優しい活動のサポートについても十分考慮の上適正な手続きに準拠して行います。

5. 取引に必要な情報の公正な開示、取引を通じて入手した情報の共有・適正管理・機密保持

(1) 取引先から得た機密情報について、適切な方法により機密を保持します。

6. 互恵取引と贈収賄の禁止、腐敗防止

(1) すべての取引先を公平・公正に扱い、互恵取引は行いません。品質・価格・納期の観点、また取引先の技術力や今までの実績等の客観的な要素に基づいて、物品・サービスの購入を決定します。

(2) 賄賂の提供や収受の一切を厳重に禁止します。また、反社会的勢力と考えられる企業・団体との取引を禁止します。

7. より良い職場環境づくり、プロフェッショナル人材育成、ダイバーシティ推進

(1) 従業員が能力を有効に発揮し、お互いが意欲溢れる職場環境を保持します。

(2) 様々な領域から構成されている調達業務に必要な知識や専門スキルを習得し、沢

井製薬グループ内他部門や取引先と協働し、経営に貢献できる調達プロフェッショナル人材を育成します。

- (3) 年齢・人種・性別・性的指向・性自認・宗教・肌色・国籍・軍歴・障がい、或いは法令により保護されるその他の区分を理由にした従業員差別を行いません。均等な雇用機会により、調達プロフェッショナル人材が個人として或いはチームとしてその能力・努力を最大化して最上の成果を上げます。

附則

本方針の管轄部門は沢井製薬生産本部とする。

本方針の改廃には沢井製薬取締役会決議が必要である。

2018年1月29日制定・施行